

ヒロシマ平和映画祭 2011 at 広島市立大学

Hiroshima Peace Film Festival 2011 at Hiroshima City University

I. 核・開発を再考する

11月30日（水）18:00 広島平和研究所会議室
シンポジウム「核・開発を再考する」

12月5日（月）18:00 講堂小ホール
ジュディ・アーヴィング監督特集

12月6日（火）18:00 広島平和研究所会議室
テレビ・ドキュメンタリー特集

12月7日（水）18:00 講堂小ホール
海外新作短編特集

12月9日（金）18:00 603 講義室
ミナマタとフクシマから考える

II. 抵抗としての文化を語る II

12月10日（土）13:00 講堂小ホール
奥間勝也監督『ギフト』、J・M・ストローブ+D・ユイレ監督『アンティゴネ』
シンポジウム「抵抗としての文化を想像／創造するために」

※ いずれも入場無料

ヒロシマ平和映画祭 2011 のテーマは“Different Voices。”「世界にうごめく無数の、それぞれ特異な声たちに耳を澄ます」べく世界中から集めたおよそ 40 本に上る作品を、11 月 29 日から 12 月 11 日にかけて、広島市内各所で上映いたします。3 月 11 日の未曾有の震災を受け、被災地からのドキュメンタリーや原発事故を歴史的に捉え返す視野を開く作品が取り上げられるほか、ヒロシマへの新たな視角を示す内外の作品も上映されます。また、そうした作品の意義を観客と共有するシンポジウムなども企画されています。このような映画祭の催しのうちいくつかの上映会とシンポジウムが、広島市立大学を会場に開催されます。それらの催しを「ヒロシマ平和映画祭 2011at 広島市立大学」としてご紹介いたします。いずれも入場無料です。

I. 核・開発を再考する

11/30 (水) 18:00 広島市立大学広島平和研究所会議室

シンポジウム「核・開発を再考する」

パネリスト：ロバート・ジェイコブズ（広島平和研究所准教授）、高橋博子（広島平和研究所講師）ほか
チリの政変をテーマとするドキュメンタリー映画『Circustacias especiales』上映予定

12/5 (月) 18:00 広島市市立大学講堂小ホール

ジュディ・アーヴィング監督特集

『ダーク・サークル』（1982 年／81 分）、『ナガサキ・ジャーニー』（28 分）

12/6 (火) 18:00 広島市立大学広島平和研究所

テレビ・ドキュメンタリー特集

『棄てられたヒバク』（2010／57 分／南海放送／伊東英明）、『封印された原爆報告書』（2010／54 分 NHK／松木秀文）
トーク：伊東英明（南海放送ディレクター）、松木秀文（NHKディレクター） 進行：高橋博子（広島平和研究所講師）

12/7 (水) 18:00 広島市市立大学講堂小ホール

海外新作短編特集

ジャン＝ガブリエル・ペリオ監督『The Barbarians』（2010／5 分／35mm・DVD 上映）、『Looking at the Dead』（2011／22 分／35mm・DVD 上映）、ガッサン・ハルワニ監督『Jibraltar』（約 15 分）

12/9 (金) 18:00 広島市市立大学 603 講義室

ミナマタとフクシマから考える

『水俣病：その 30 年』（青林舎＋シグロ共同作品／1987 年／43 分／土本典昭）、『原発震災ニュースリール No.10——小出裕章（京都大学原子炉実験所）「フクシマの現実と責任」福島原発で何が起きているのか？その 5』（2011 年／56 分／藤本幸久） トーク：藤本幸久監督「フクシマ、ミナマタ」

II. 抵抗としての文化を語る II

12/10 (土) 13:00 広島市立大学講堂小ホール

生きることを脅かす歴史の流れに立ち向かう、抵抗そのものであるような文化を今ここに！

奥間勝也監督『ギフト』（2011／40 分）

ジャン＝マリー・ストロープ＋ダニエル・ユイレ監督『アンティゴネ』（1991／95 分）

シンポジウム「抵抗としての文化を想像／創造する——オキナワとヒロシマから」

パネリスト：井上間従文（琉球大学：比較文学）、奥間勝也（映像作家）、柿木伸之（広島市立大学：哲学、美学）

司会：東琢磨（文化・音楽批評）

- アクセスの詳細については、広島市立大学 Website (<http://www.hiroshima-cu.ac.jp/page/content0002.html>) でご確認ください。広島市立大学広島平和研究所の最寄りの停留所は、広島電鉄路面電車の市役所前電停、広島市立大学のその他の会場の最寄りの停留所は、広島電鉄バスの市立大学前停留所です。
 - プログラムの詳細については、ヒロシマ平和映画祭 Website (<http://hpff2011.untokosho.com/index.html>) をご参照ください。そして、大学以外の会場の催しにもぜひお越しください。優れた、刺激的な映画に触れる絶好の機会です。こちらは有料ですが、学生のみなさんにはお得な（すべて半額！）の学生券も用意しています。
 - お問い合わせは、柿木研究室（Tel.: 082-830-1767／内線 3741）までお願いいたします。
- 主催：ヒロシマ平和映画祭実行委員会 共催：広島市立大学社会連携プロジェクト研究「映像作品を媒体とする記憶の継承の可能性の探究」、科学研究費補助金基盤研究 C「冷戦初期における米国核政策と被爆者・ヒバクシャ情報」